

個別最適な学び研究部会 授業実践

令和4年12月2日 1年2組 授業者：花岡 あゆみ

教科：体育 単元名：よりおおくの たからを はこべ！！ 本時：7／8

単元の目標：鬼遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、一定の区域で逃げる、追いかけるなどの簡単な規則で鬼遊びをしたり、工夫した区域や用具で鬼遊びをしたりすることや鬼遊びで、相手をおどしたり、走り向けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えることができる。

1 部会の目標

相手の考えを尊重し、互いに受け入れたり、比べたりしながら、主体的に課題解決に取り組める児童を育てる。

2 本時の学習について

(1) 児童の実態

○自分の考えを伝えることができる児童もいるが、上手く伝えられずに遠慮してしまう児童もいる。

○相手に伝えることで精一杯になってしまい、互いの考えを聞くことができず、考えを深めることはまだできていない。

(2) 目指す児童の姿

○友達と話し合いながら、自分達のチームに合ったよりよい作戦を考えることができる。

○考えを共有したり比べたりしながら、話し合うことができる。

(3) これまでの取組

○ロイロノートによる「朝顔の生長記録」の作成・整理（生活科）

○ロイロノートによる自分達で考えたコースの共有・記録・復元（体育）

3 授業における手立て

○ロイロノートでチーム毎に共有ノートを活用して作戦を立てる。



4 成果○と課題●

○各チームで、1年生なりに自分達にあった作戦を話し合っ立てることができた。

●児童の考えた作戦を、クロムブックなどを使ってまとめの段階で見せると良い。

●ロイロノートはグループで考えた作戦は残るが、どういった過程でできたかわかりにくく、評価をどのようにすればよいか考える必要がある。